



※より多くの情報を掲載するため、概要は必要最低限にとどめております。情報の詳細は各助成元ホームページなどでご確認ください。

●第7回 MPドリーム助成金

【申込受付期間】8月20日(木)必着(郵送のみ)

【助成対象】三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ ※その他詳しくは募集要項をご覧ください。

【助成金額/件数】1グループ20万円以内/40グループ以内

【応募方法】ホームページから申込書類をダウンロードしてください。 http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyo/

【問い合わせ】三重県遊技業協同組合/TEL:059-221-1677

●男女共同参画グループ団体ネットワーク学習会支援事業

【申込受付期間】10月30日(金)まで

【対象企画】男女共同参画に対する自主的な学習意欲に応えるための講師料支援

【助成金額/件数】1件30,000円以内(支払目的は講師料に限ります)/3件

【応募方法】詳しくはホームページをご覧ください。 http://www.city.matsusaka.mie.jp/danjo/page-info/group.htm

【問い合わせ】松阪市役所 生活部 男女共同参画室/TEL:0598-53-4339

●Panasonic NPOサポート ファンド 2010年助成事業(環境分野/子ども分野)

【申込受付期間】7月17日(金)~7月31日(金)(当日消印有効/郵送のみ)

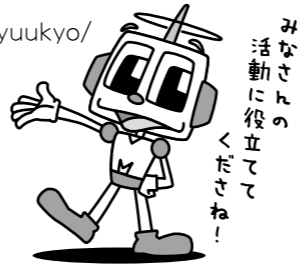
【助成対象】法人格の有無を問わず、日本国内に事務所をもつ非営利団体 ※その他詳しくは募集要項をご覧ください。

【助成金額/件数】1件あたり150万円/約10件 ※人件費含む

【応募方法】ホームページから申込書類をダウンロードしてください。 http://panasonic.co.jp/cca/pnsf/index.html

【問い合わせ】環境分野:特定非営利活動法人地球と未来の環境基金/TEL:03-5298-6644 E-mail:eff-spf@eco-future.net

子ども分野:特定非営利活動法人市民社会創造ファンド/TEL:03-3510-1221 E-mail:kodomo@civildfund.org



活動に役立ててくたせよ

センターからのお知らせ



◎センター休館のお知らせ 祭り当日は例年通り休館日とさせていただきます。

● 祇園まつり … 7月11日(土)・12日(日) ● 七夕まつり・鈴の音市 … 8月1日(土)

書籍の森 関東圏書三重県一を 私たちと一緒に 目指しませんか? 作るみんなの

当センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。

【募集書籍】

ご協力ありがとうございます。引き続き書籍の寄贈を募集中です。 NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

ちょこつと編集後記

キャンドルナイト、打ち木大作戦、どちらも都心部のNPOが始めた活動が全国規模になった代表例です。これらのサイトを見るたび、市民活動を広めるためには「デザインのカ」も必要だと感じます。【S】

松阪発信! 市民活動の情報紙 AROMA 次号は2009年8月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「AROMA掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などをご記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mail かFAXにて送付してください。 次回の原稿締切は2009年7月31日(金)です。 担当/澤

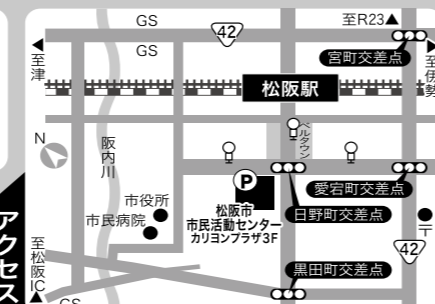
松阪市市民活動センター 〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 月曜~土曜日/10:00~22:00 松阪駅下車(JR側)、徒歩5分 カリヨンプラザ駐車場あり(屋上) 会議室利用時間に限り無料 ラウンジ利用は2時間まで無料

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

Table with 2 columns: 会議室 (大会議室, 小会議室) and 機材等 (印刷機, マイク). Includes pricing and booking information.

松阪市市民活動センターホームページ http://www.katsudou.com

市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/



アクセス

AROMA A Resident Of Matsusaka Activity

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F 開館 月曜~土曜日/10:00~22:00 (予約専用) TEL 0598-25-3801 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

~アロマ~ No.23



今号は 松阪・紀勢地域交通事故防止あんなび会 さんです。

あんなび会は元々、県の策定した松阪・紀勢生活創造圏づくり事業の交通安全部会として平成14年に発足。この事業が終了した平成19年、「こうした活動は継続することに意義がある」との想いから「松阪・紀勢地域交通事故防止あんなび会」と名称を変更、活動のノウハウや実績、企業や行政との連携体制をそのまま活かし、市民活動団体として新たなスタートを切った。この団体の主な活動は、独自の視点とアイデアが詰まった「あんなびカルタ」を使った意識啓発と、子ども達と共に同じ視点に立ち、通学路の危険箇所を調査する「あんなびたんけん隊」が挙げられる。団体の名前や、活動内容にも使われる「あんなび」は島谷さん達の生み出した造語で、この活動に参加するメンバーが「交通事故のない安全なまちづくりへのナビゲーター」でありたいとの想いが込められている。

今回の取材先は、歩行中に交通事故に遭いやすい子どもや高齢者に対し、交通安全意識の啓発や交通事故防止に努める「松阪・紀勢地域交通事故防止あんなび会」の代表、島谷俊作さんにお話を伺いました。

したよ。『あ』とか『け』などは普通の文章で最後にくることが少ないですからね。全体の85%くらいは私が考えました(笑)」と島谷さんは話す。このカルタは地域の学校、公民館などに配られており、地域外への貸し出しも行なっている。

もうひとつの主な活動「あんなびたんけん隊」では、要望のあった学校にメンバーが出向き、子どもを中心に保護者や教員と共に通学路を調査する。調査後、子ども達が結果を地図に落とし込み、更にあんなび会で再編集し「あんなびたんけん隊マップ」を完成させる。完成したマップは学校に届けられ、子ども達の交通安全活動に活かされる。「嬉しかったのは、上級生になった子ども達がこの地図を使って、新入生に危険箇所を教えてくれていると聞いたことです」と島谷さんは話す。交通事故防止活動に情熱を注ぐ島谷さんにとって、この活動に参加した子ども達が自発的に活動してくれることは感慨深いことだろう。



「あんなびたんけん隊」の活動風景

島谷さんを始め、会員一人一人の根底には、この活動に対する高い意識や強い思いがある。夏の炎天下に行なわれることの多い「あんなびたんけん隊」は体力的にも厳しい。しかし「子ども達とのふれあいや、喜ぶ顔を見るのが楽しみ」と、苦勞をいとわず楽しみのひとつとして捉えている。会議の場でも意識の高さが伺える。島谷さんを含む8名からなる世話人会の出席率はほぼ100%、活発な意見交換の場となる。印象的だったのは「楽しくなければ続かない、まじめでなければ広がらない」という市民活動の核心をつく言葉だ。この活動にまじめに取り組み、その中に楽しみを見いだし継続している。この思いがある限り、あんなび会の活動は今以上に広がりを見せることだろう。 あんなび会に関するお問い合わせは…TEL:0598-50-0570



あんなび会の代表 島谷俊作さん

実際に目にした「あんなびカルタ」は良く出来ていると関心させられた。読み札は全て交通安全標語になっており、文字も大きく、ふりがなを付けるなど、子どもや高齢者への配慮がなされている。また、絵札に使われるイラストは地域の小中学校などに募り、制作段階から意識啓発に力を入れた。しかしそれだけではない。このカルタの一番の特徴は、交通安全標語の末尾の文字で絵札を取ることだ。例えば「止まるまで 開けてはだめよ 窓とドア」の最後の文字「ア」で取るのだ。カルタを楽しみながら、言葉をしっかり最後まで「聞くこと」、「読むこと」で記憶に残るという工夫だ。「苦勞しま



工夫の詰まった「あんなびカルタ」

事業報告 賑やかに開催! 登録団体交流会

センター登録団体同士の交流、協働のきっかけづくりの場「登録団体交流会」を6月3日に開催しました。交流会は2部構成となっており、第1部は当センターの各種報告が中心です。今年はこちらに加え、県の担当者を招いての「NPO活動基盤強化事業」の紹介や、市の担当者による地域SNS「まつさかベルネット」のPRなど、市民活動に役立つ情報を提供することができました。



空気はガラリと変わって「第2部」始まり始まり～

交流に重点を置く第2部は、まず「1文字で表すと」というグループワークからスタート。テーマに対する意見を出し合い、合意した言葉を1文字で表現するという内容です。各グループとも1文字を決定するころにはすっかり打ち解けた様子。市の担当所轄の職員さんもこの輪に加わり、団体さんとの交流を楽しみました。

グループワークで和んだ後は自由参加の「1分間PRタイム」です。交流会の常連さんも、初参加の方も積極的にマイクを握り活動をPRされました。同じ1分でも使い方は様々。持ち味を存分に活かした活動紹介が続きます。事業告知や活動アイテムの紹介、手品や相撲甚句などのパフォーマンスも飛び出し、笑い声や拍手の沸き起こるPRタイムとなりました。

賑やかな雰囲気の中、団体さんの笑顔と積極的な姿勢が印象的だった交流会も無事に終わることができました。ありがとうございます。今後も当センターでは、市民活動が活発に行なわれるよう団体サポートに一層励んでまいります。



事業報告 緊急時の救命講習を実施しました



緊急時の対処法を学んでいただくため「緊急時の救命講習」を5月19日、消防本部消防課の講習担当者を招き、開催しました。現在、救急車が到着するまでの平均時間は約、6～7分と言われています。この間に行なう「心肺蘇生法」は、実際にやってみると短時間でも汗ばむほど。それでも参加者からは「講習を受けたことで少しは冷静に対応出来るようになったと思う」とのお言葉をいただきました。また、当センターをより安心してご利用いただけるよう、センタースタッフも参加者と一緒になり講習を受けました。こうした講習は定期的に受講してこそ、いざという時に力を発揮するものです。今後もセンターでは、救命講習を実施していく考えです。

事業告知 ～七夕まつり・鈴の音市～ あなたに代わりPRします

当センターは8月1日(土)に開催される「七夕まつり・鈴の音市」にブースを構え、例年通り市民活動のPRを行なう予定です。同時に、登録団体さんのチラシやパンフレットなどをセンターブース内に設置し、PRに協力したいと考えています。チラシ設置をご希望の団体さんは、7月25日(土)までにセンター窓口までご持参ください。PRのサポートもセンターの役割の1つです。多くの来場者で賑わう祭りで、あなたに代わってPRいたします。



【注意】

- ・センター登録団体のチラシに限らせていただきます。
- ・主催者名、問合せ先が明記されていないチラシはお断りいたします。
- ・設置スペースの関係上、先着10団体までとさせていただきます。
- ・チラシは最大A3サイズとさせていただきます。

事業報告 揺らめく灯りのエコ活動 キャンドルナイト



6月20日(土)に「市民活動センターキャンドルナイト」を実施しました。環境省も賛同するこのイベントの始まりは、東京のNPO法人の代表がカフェで行なった小さなエコ活動でした。「1年のうちのたった2時間、電気を消してロウソクの灯りで過ごす」という参加しやすいと、環境意識への高まりもあり、今では全国規模のムーブメントです。当センターもこの活動の趣旨に賛同し、独自で実施、今年で3年目となりました。

詳細は「100万人のキャンドルナイト」ホームページをご覧ください。
<http://www.candle-night.org/jp/index.html>

当センター参加のエコ活動を
もう1つご紹介します

事業告知 真夏にひんやりエコ活動 打ち水大作戦2009

今年の「大暑」にあたる7月23日(木)の午後2時よりカリヨンプラザ1階にて「打ち水大作戦」を実施します。こちらも東京のNPOの取り組みで、急速に広がりを見せています。当センターもこの活動の趣旨に賛同し、ポットの残り湯などを使い、2年連続の実施となります。今年は松阪市商店街連合会、松阪市自治会連合会、中部電力(株)松阪営業所の賛同も得られ、各地で同時刻に実施します。皆さんも、この日、この時刻にお家の前で打ち水をしてみてはいかがですか? 松阪中で一斉に打ち水すれば、この日の気温に変化があるかもしれませんよ。
※雨天中止です。後日、暑い日に各自で実施してみてくださいね。
詳細は「打ち水大作戦」ホームページをご覧ください。
<http://www.uchimizu.jp/>



このように当センターでは、今後も引き続きエコ活動の推進にも力をいれてまいります。

CSR活動との連携 着々と進行中!

市民活動がよりよく持続するためにも、適切な利益を得ながら活動する「コミュニティビジネス(ソーシャルビジネス)」に注目が集まっています。また、利潤を求めめるだけでなく地域社会の中で支え合おうという考えの企業が増えてきていることも嬉しいことです。「有償で活発になる市民活動」と「無償で活発になる企業の社会貢献活動」のそれぞれが増えていることで、以前よりもお互いが身近に感じるようになってきました。その企業の活動を市民が知るきっかけとなるのが、CSRレポートなどの企業が発行する報告書ですね。
先日、続けて2社から報告書へのコメント依頼があり、喜んでお引き受けしました。シャープ㈱の「環境・社会貢献活動情報誌」と、マックスバリュ中部㈱の「企業活動報告」です。その寄稿に対してお礼のメッセージをいただきました。

■マックスバリュ中部株式会社 総務部環境・社会貢献担当 出口由香さんより

当社では、私達の理念の一つに「地域社会のお役に立つ」を掲げ、社会貢献活動、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。今回、市民活動センターに架け橋となっていたいただき、氏郷まつりへの参加や松阪市商店街連合会との合同イベントなど、一企業だけでは成しえる事のできない「地域社会へのつながり」ができました。また、さまざまなイベントに参加させていただいたことで、多方面の方々との交流が生まれ、活動の輪が広がっています。これからも地域とのつながりを大切に「地域

社会のお役に立つ」活動を積極的に行っていきたく考えています。
http://www.mv-chubu.co.jp/ecology/ecology_001.html

■シャープ株式会社三重工場 三重環境安全推進センター 宮田勝弘さんより

近年、急速に企業の社会貢献活動がクローズアップされ、その活動度合いが企業の評価基準となりつつあります。そのため各企業も続々と活動に取り組み始めています。しかし、地域貢献・社会貢献の活動経験のない企業は、すぐさま実施できるものではありません。そのような企業に対して、行政・市民団体への橋渡しをしていただける松阪市市民活動センターの存在は非常に助かっており、活用させてもらっています。今、世の中は企業単独による貢献活動ではなく、地域住民と連携した地域一体となった活動に動いていますが、市民活動センターはその連携の橋渡しを担う必要不可欠なものと考えております。
http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/data_list/industry/mie.pdf (2009年度版は、8月以降の掲載を予定しています)

今後も「産・官・学・民」の連携に力を入れてまいります。当センターは、市民活動団体だけでなく、企業の社会貢献のご相談を承っております。お気軽にお声かけください。